福島第一原子力発電所における異物混入防止への取り組み状況について

1. 異物混入に関する朝礼等での周知

品質月間に伴う協力企業への周知

各協力企業の朝礼に参加し、「クリーンアップ作戦の主旨」「異物混入防止の重要性」「誤って落としてしまった場合の速やかな報告」などについて周知する。(11月4日~実施中)

実施風景(11月4日実施分)





当社員への周知

11 月の所内朝礼にて、「クリーンアップ作戦の主旨」「異物混入防止の重要性」「誤って落としてしまった場合の速やかな報告」など異物混入防止に関し周知した。(11 月 4 日実施済)

2.4Sの徹底(クリーンアップ作戦)

実施計画

運転開始から30年が経過したことから、発電所諸施設に対し下記内容のクリーンアップ作戦を実施する。

- ・パトロールを実施し、所有者不明物品の片付けを行う。
- ・パトロール時にごみ拾いを行う。
- ・異物混入防止啓蒙活動(作業員への周知、ポスター掲示など)を行う。

メンバー

協力企業 9 社 + 東電

11月5日実施時結果:

東電 副所長、発電部長、保修部長、発電部・保修部各 GM、放射線管理 Gr 員他 計 17 名協力企業 計 11 名

総勢28名が4班に分かれて実施

成果

11月5日実施状況(1,2,4,6号機 ドライウェル内)













実施風景(約7人/1プラント)





回収物·所有者不明物





ごみ回収量(平成15年11月5日実施分)

号機	可燃物(袋)	難燃物(袋)	不燃物(袋)	合計(袋)
1 号機	0.5	1.0	1.0	2.5
2 号機	0.2	0.3	0.5	1.0
4 号機	0.3	少量	少量	0.3
6 号機	0.5	0.5	1.0	2.0
合計	1.5	1.8	2.5	5.8

主な回収物:番線類、テープ類、ボルト・ナット類、ひも類、保温材の一部など

主な所有者不明物:保温材カバー、鋼材、養生シートの芯、など

3.ドライウェルベント管開口部養生の徹底

福島第一2号機(Mark)実施状況 (従来から実施)



福島第一6号機(Mark)実施状況 (今回から新たに実施)

実施前



実施後



10月22日~24日実施

4 . 圧力抑制室(S/C)への異物混入防止対策





S/C マンホールの立入禁止、落下防止処置の状況 (開口部をネット養生(従来)から難燃シート養生(新規)へ変更) (写真左:1 号機 写真右:2 号機)









6 号機 S/C 内作業に対する異物混入防止管理エリアの設定および専任監視員の設置 (S/C 内を異物混入防止管理エリアとして設定。専任監視員による S/C 内への物品の持込み持ち出し管理をより確実 に実施。具体的には写真内吹き出し項目を今回より新たに実施。)

福島第二原子力発電所における異物混入防止への取り組み状況について(1/2)

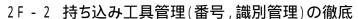
2F-3 ドライウェル内マンホール *





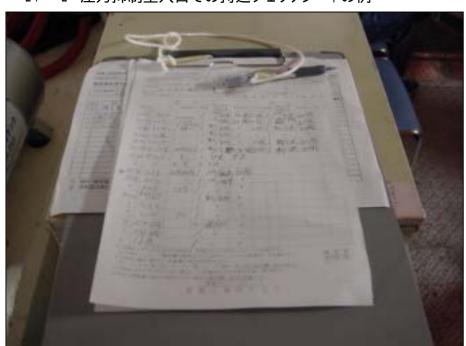


*:3号機は格納容器漏えい率検査が終了しており、立ち入り規制及びエリアの清浄度維持を継続中。尚、「清掃作業終了につき立入禁止」等の表示は今回の対策として実施。

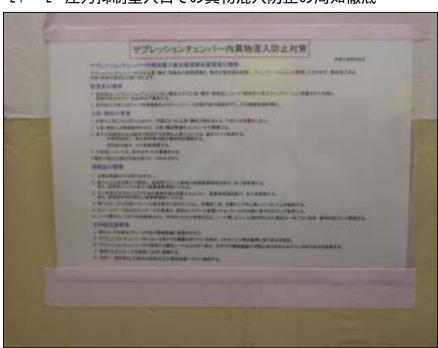




2F-2 圧力抑制室入口での持込チェックシートの例



2 F - 2 圧力抑制室入口での異物混入防止の周知徹底



圧力抑制室入口付近の壁に貼り付けた、圧力抑制室に関する注意事項

福島第二原子力発電所における異物混入防止への取り組み状況について(2/2)

2F-4 ベント管開口部養生状況写真 1



2F-4 ドライウェル内での当社と協力企業による清掃状況



2F-2 ドライウェル内清掃状況(清掃前作業エリア)



(D/W 1階 135°側)

2F-4 ベント管開口部養生状況写真 2



2F-2 ドライウェル内清掃後の回収品状況



2F-2 ドライウェル内清掃状況(清掃後作業エリア)



(D/W 1階 135°側)



原子炉格納容器入口(B2区域用作業靴(黄靴)履き替え所)



専任監視員による持ち込み物品の確認の徹底



ドライウェルB2区域用作業靴(黄靴)履き替え所における4Sの徹底



持ち込み品のチェックシートとの照合の徹底

現場の管理状況(その1)

柏崎刈羽原子力発電所における異物混入防止への取り組み状況について(2/2)



工具、機材類の員数管理の徹底



個人持ち工具の「紐の取付け」の徹底



異物混入防止意識の喚起(ポスター表示は今回より実施中)



個人持ち工具の「紐の取付け」「所有者名の表示」の徹底現場の管理状況(その2)